



攝津電機工業株式会社

2020 年度 環境経営レポート

(対象期間 2020 年4月1日～ 2021 年3月31日)



エコアクション21[®]
認証番号0011824

作成日：2021年4月13日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業内容の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6～8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	10



□ごあいさつ

攝津電機工業株式会社は、電機設備分野で人と技術の調和をはかり、「お客様に価値ある製品を提供する」ことにより社会に貢献する会社です。社会の公器たる企業においては、社会的な存続価値がなければなりません。

我社は工場自動化システムによる生産性向上の領域と受変電設備・電気設備工事等の社会インフラ関連の領域にてこれからも社会に貢献してまいります。

また、社員一人一人が仕事を通じて自らの能力と人間性を向上させることにより、企業の持続的な発展が維持出来ると確信しております。

お客様に価値ある製品の提供とプロフェッショナルな社員の育成に全力で取り組むことにより、存在感のある企業としてお客様を初め関係会社様とともに成長し続けられるよう努めてまいります。

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、「顧客に価値あるものを提供する」ことにより社会に貢献し、企業として持続的に発展することを目的とする。

当社の事業活動である配電盤・制御盤の設計製作および電気工事事業において、地域ならびに地球環境に与える影響を常に考慮し、積極的に環境経営に取り組み、環境負荷の継続的な削減に取り組むことを、当社の使命とする。

この使命を果たすために、当社は以下の行動指針に従って環境改善活動を行う。

<環境保全への行動指針>

1. 事業活動の全領域において経営目標に適合し、環境に配慮した省資源・省エネルギーを推進する。
2. 環境関連における法律、規制、規程および顧客要求を順守する。
3. 社員一人ひとりが自己啓発し、環境保全行動を実施する。
4. 環境改善目標を定め、環境負荷の低減を継続的に取り組み、活動結果を公表する。
 - ① CO2排出量削減
 - ② エネルギー使用量低減
 - ③ 廃棄物排出量削減
 - ④ 総排水量の削減
 - ⑤ グリーン購入の推進
 - ⑥ 製品・サービスへの環境配慮
 - ⑦ コピー紙の削減
 - ⑧ 化学物質の適正管理

制定日：2020年7月2日

代表取締役 賀内 一彦

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

攝津電機工業株式会社
代表取締役 賀内 一彦

(2) 所在地

本社 大阪府箕面市稲6丁目2番1号
大阪支店 大阪府大阪市西区江戸堀1丁目23番35号
神戸支店 兵庫県神戸市中央区八幡通3丁目2番5号
川西工場 兵庫県川西市石道久保ノ上166番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 取締役統括部長 阪田 圭司 TEL：06-6443-4977
担当者 総務部 宇賀 正樹 TEL：072-727-7151

(4) 事業内容

配電盤・制御盤の設計・製造管理、電気機器の据え付け工事管理

(5) 事業の規模

売上高 15億4千万円

	本社	大阪支店	神戸支店	川西工場	合計
従業員 名	49名	4名	2名	3名	58名
延べ床面積 m ²	1880.56 m ²	39.68 m ²	44.21 m ²	445 m ²	2,409 m ²

(6) 事業年度

4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 攝津電機工業株式会社
対象事業所： 本社

大阪支店
神戸支店
川西工場

対象外：

なし

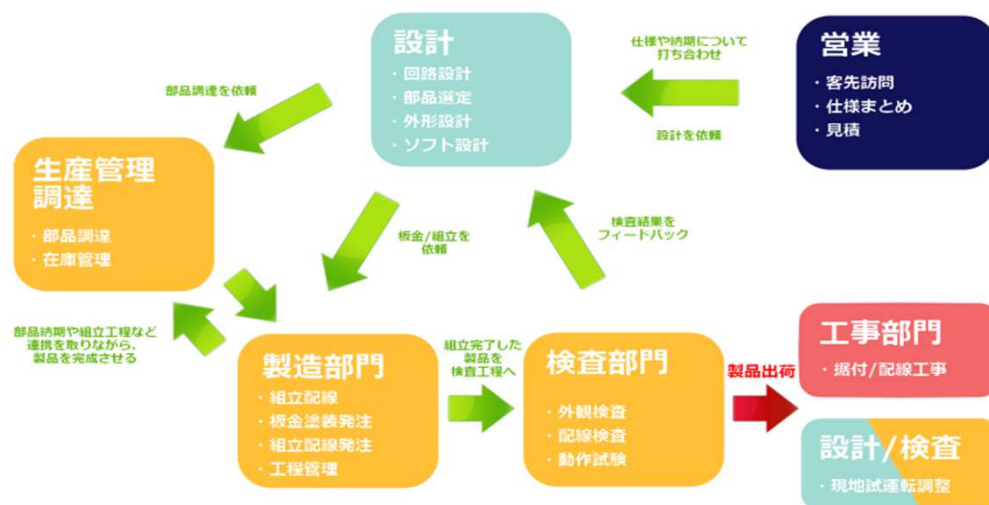
活動：

配電盤・制御盤の設計・製造管理、電気機器の据え付け工事管理

□事業内容の紹介

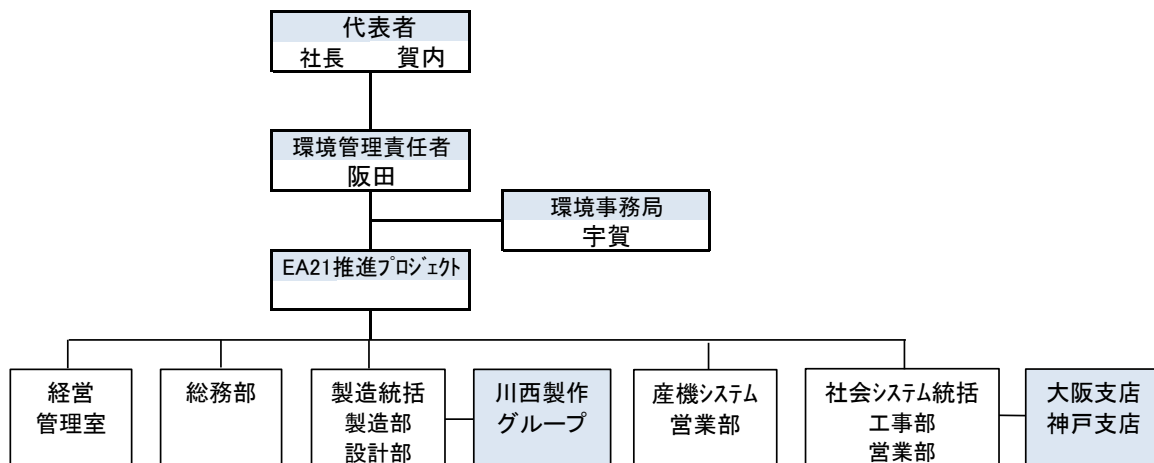
電気設備、計装設備、受配電盤・制御盤の設計製作等、あらゆる電気設備に関わるご相談に対応できるよう、優秀なスタッフを置き、業務に励んでおります。

省力化や効率化のサポート役として、先進の技術で工場の生産設備、各種のプラントへ、制御の技術を軸にお客様のニーズに従って、ソフト及びハードの設計から製作まで一貫して行います。ライフラインに密着した上下水道、道路、河川、ダム設備などのインフラを、信頼される技術で制御盤の設計製造から据え付け電気工事までトータルサポートで、製品、技術を提供させていただいております。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年4月3日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> EA21推進プロジェクトの事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
EA21推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

品質方針

当社は、『顧客に価値あるものを提供する』ことにより社会に貢献し、企業として持続的に発展することを目的とする。顧客や社会に対し、高品質の製品・サービスを効率的かつ継続的に提供することを、当社の使命とする。この使命を果たすために、当社は以下の行動指針に従って企業活動を行う。

1. 顧客の立場に立って、常に物事を考えて行動することにより、常に顧客満足を追求する。
2. 顧客の要求を満たし、法的要求にも配慮した、信頼される製品・サービスを提供する。
3. 社員一人ひとりが自己啓発し、自己成長を目指し常にチャレンジする。
4. 製品・サービスの品質の維持・向上をも確実なものとするため、品質マネジメントシステムの有効性を

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	100,944	105,121	115,995
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	2,861	3,000	2,982
産業廃棄物排出量	kg	11,468	4,688	9,231
水使用量	m ³	1,357	462	461

※二酸化炭素排出係数 0.522 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※二酸化炭素排出量には、灯油による排出量を含む

□環境経営目標及びその実績

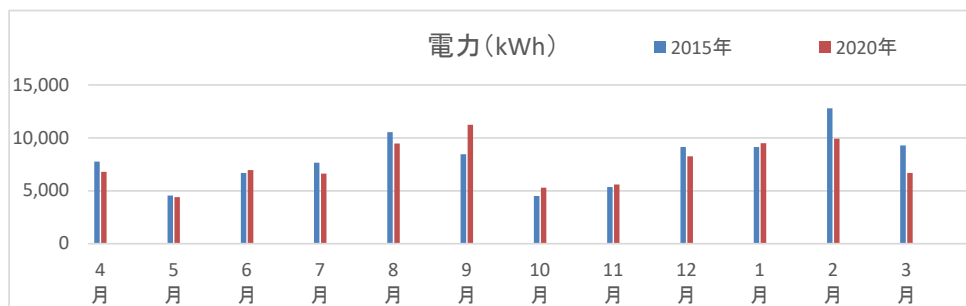
項目	年度	基準値	2020年		評価	2021年	2022年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	49,600	46,624	47,358	×	46,128	45,632
	基準年度比	2015年	94%	95%		93%	92%
	原単位	kWh/千円	0.074	0.069	0.059	○	0.069
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	62,827	60,942	66,348	×	60,314	59,686
	基準年度比	2015年	97%	106%		96%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	112,427	107,566	113,706	×	106,442	105,318
一般廃棄物の削減	kg	3,600	2,880	2,657	○	2,880	2,808
	基準年度比	2015年	80%	74%		80%	78%
産業廃棄物の削減	kg	8,475	8,136	9,100	×	7,967	7,882
	基準年度比	2015年	96%	107%		94%	93%
水道水の削減	m ³	821	755	461	○	739	739
	基準年度比	2015年	92%	56%		90%	90%
コピー用紙の削減	枚	634,500	609,120	452,500	○	571,050	558,360
	基準年度比	2015年	96%	71%		90%	88%
製品・サービスへの環境配慮	件	0	4	107	○	110	120
	基準年度比	—	—	—		—	—

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

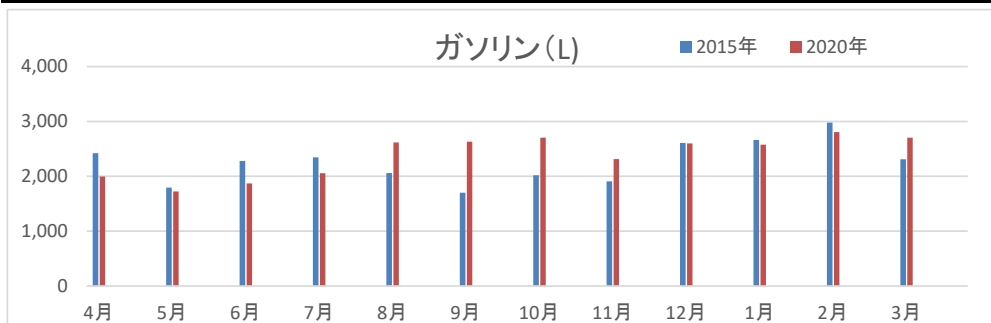
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	コロナ禍対策による換気を実施し空調機の稼働率が上がったなどのイレギュラーな要因があったものの業務の効率化が進んだこともあり、目標値には至らなかったが、基準年はクリアできた。次年度も取り組みを継続する。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・残業内容の部門FBによる業務指導強化	○	
・作業改善・業務改善の推進	○	



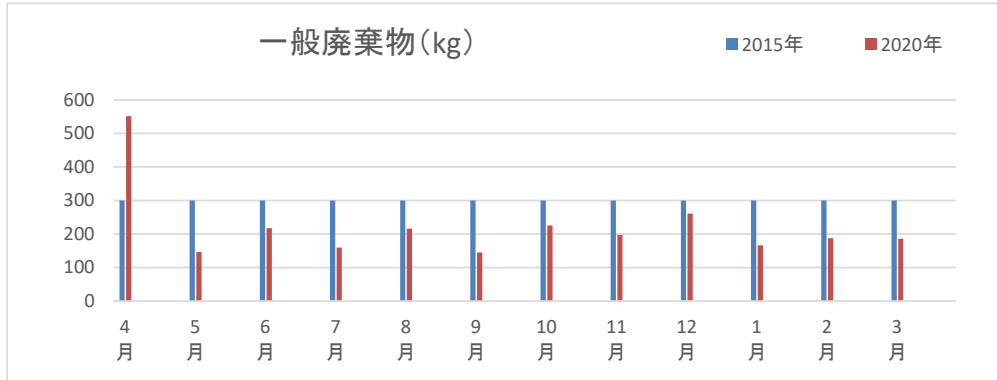
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	7,758	4,560	6,680	7,659	10,542	8,458	4,507	5,357	9,125	9,125	12,794	9,279
2020年	6,788	4,401	6,961	6,631	9,457	11,234	5,293	5,595	8,257	9,502	9,923	6,685

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	コロナ禍対策の一環として、社有車での通勤、遠方への社有車移動の取り組みを実施したために、また業務拡大に対応すべく車両を増加したため大幅に使用量が増えた。次年度はエコドライブの推進をより強化する。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	○	
・エコ運転の教育(外部講習)	×	
・車両更新時に低燃費車を選択	△	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	2,419	1,791	2,276	2,344	2,057	1,700	2,016	1,905	2,604	2,663	2,978	2,308
2020年	1,992	1,723	1,867	2,054	2,615	2,632	2,704	2,311	2,597	2,573	2,806	2,705

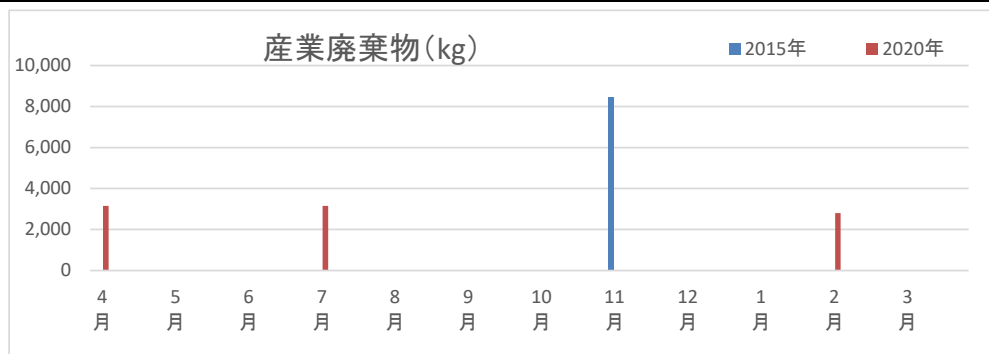
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	教育を通しての注意喚起により、分別が徹底され、また「捨てる前に軽量」の意識づけが徹底され、数値の見える化も一般ゴミの削減に一役買っている。 次年度も継続して取り組む。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	×	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



・4月は異動などの組織変更に伴う増加

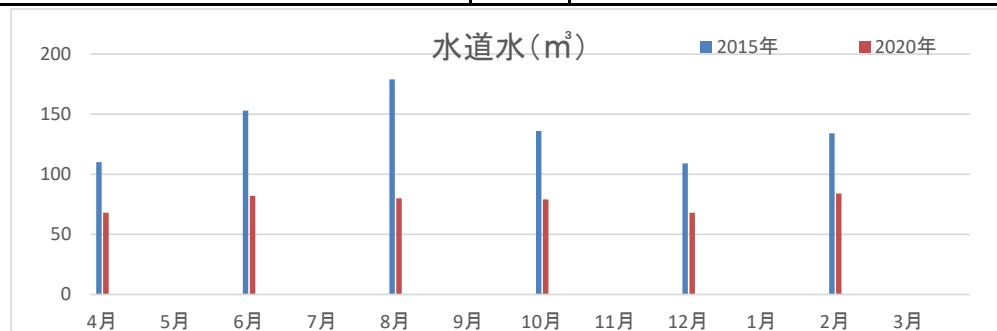
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
2020年	552	146	217	159	216	145	225	197	261	166	187	186

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	外部で出た産業廃棄物を持ち込ませないことを徹底できた。受注増などによる影響で結果として増加した。 次年度も継続して取り組む。
・分別の徹底	○	
・梱包材の再利用（木材）	○	
・現場事務所備品のレンタル品検討	○	
・備品管理の強化（備品リスト作成）	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	0	0	0	0	0	0	0	8,475	0	0	0	0
2020年	3,150			3,150				0			2,800	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	蛇口の閉め忘れや漏水等なく、節水もできていた。 次年度も取り組みを継続する。
・ 節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・ 定期的な上下水道使用量の確認	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2015年	110	0	153	0	179	0	136	0	109	0	134	0
2020年	68		82		80		79		68		84	

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	—	グリーン商品での調達・購入が確認できていた。 次年度の取り組みでは数値目標は設定しないが、できるだけグリーン購入に努めることとする。
・ エコタイヤ（交換用）の購入確認	○	
・ 工事材料（エコケーブル）の使用推進	○	
・ 事務用品グリーン製品導入	○	

コピー用紙の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ ペーパーレス（会議資料他）	○	電子化が進み、電子化による諸変更にも的確に対応できたことから、削減傾向が見られた。 次年度も取り組みを継続する。
・ プリンター用紙の購入数を把握する	○	

製品・サービスへの環境配慮	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ 省エネ機器の採用	○	客先の理解を得ることで、エコ電線の使用を推進できた。 次年度も取り組みを継続する。
・ 再生資源の利用	○	
・ 省資源設計の提案（既成BOXの利用等）	○	
・ 省エネ設計の提案（Ex. INV等）	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
フロン排出抑制法	業務用空調機
グリーン購入法	備品調達

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

本年度において苦情等の実績はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2020/11/20	■実施場所： 箕面本社
■参加者： 本社勤務従業員 27名	
■実施内容： <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 ・箕面市消防本部から講師を招き、工場裏手から火があがったと想定しての避難訓練を実施 ・水消火器による消火訓練	
■評価： 良	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
火災発生から避難、安否確認まで要した時間は3分45秒。実際に火災が起こった際にも同様の措置が取れるように引き続き訓練に参加するよう働きかけます。	
■実施状況の様子	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2021年4月15日

2020年度は新型コロナウイルスの感染防止等の影響により、勤務形態の変更において社用車通勤の許可や時差出勤の実施により、自動車燃料及び使用電力による二酸化炭素削減が目標値に達していませんが、変革プロジェクトによる生産性の向上の実施は徐々に成果を上げています。今後も、業務のデジタル化を行うことによる生産性の向上を継続していきます。

新型コロナウイルス感染防止対策を含め、環境保全活動が社に定着してきています。今後も継続してエコアクションの取組及び業務改善の取組を実施してまいります。

また、2021年度は新たにBCP検討委員会を発足させ、SDGsを含んだ事業継続計画の策定に取り組みます。

全社員が知恵を出し合い、実施に努力することが重要であることを周知し、さらなる環境負荷の低減に努力し、より一層の環境経営を推し進めてまいります。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

代表取締役 賀内 一彦

□これまでの環境活動の紹介

会社周辺を清掃しています。

当社では毎月初めの8:45～9:30の間、社内清掃を実施しております。環境美化の一環として、会社が面する道路にまで範囲を広げ、おもに吸殻やポイ捨てゴミを拾っています。

周辺清掃を始めた当初は、多量のゴミが散見されておりましたが、取組みを実施してからは、拾うゴミの量も段々と減少しています。

今後も周辺清掃を続け、環境を維持して行きたいと考えております。

